

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	公害測定機器更新事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	大島 尚文			
					01	04	01	05
							01	56

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内測定局	意図	常磐自動車道周辺の大気及び騒音に係る環境の保全を図る。
事業内容	常磐自動車道監視測定局4局及び平和台測定局の監視測定機器を良好な状態に保ち、大気及び騒音の環境状況を安定的に計測する。			
事業開始から現在までの状況変化	各測定局に機器が導入されてから長い年月がたち、機器の老朽化が進んでいる。生産中止になっている機器もあり、修理が困難となってきた。常磐自動車道基金積立金を取り崩して対応している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	エアコン更新	0	0	1	台	→→	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 機器の老朽化が進み、生産中止の機器が増えている。そのため修理が困難であり、購入しなければならない場合がある。常磐自動車道積立金を取り崩して対応している。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				1,779,560				
事業費(b)(円)				461,160				
うち一般財源				461,160				
職員給与費(c)(円)				1,318,400				
人役・職員(人)				0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	事務改善を行い経費の削減を図る。	③取組における課題(Check)	機器更新の時期。
②H30に実施した取組(Do)	予算執行に当たっては経費の削減に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	計画的な更新計画の見直し。